

第1回 福岡空港地盤改良工事の修補に関する有識者委員会 議事概要

日時 : 平成28年10月11日(火)10:30~12:00

場所 : 福岡第二合同庁舎2階 共用第5~6会議室(福岡県福岡市)

出席委員 : 笠間清伸委員、春日井康夫委員、善功企委員、坪川将丈委員、
水谷崇亮委員、森川嘉之委員

関係者 : 池上正春 国土交通省航空局 空港施設補修対策本部長
谷口雅人 国土交通省大阪航空局 福岡空港事務所施設部長
堀田治 国土交通省九州地方整備局 港湾空港部長
楠山哲弘 国土交通省九州地方整備局 博多港湾・空港整備事務所長

議事 : 事務局から資料説明後、各委員からご発言

<議事概要>

□冒頭、堀田部長、池上本部長の挨拶において、8月2日の「地盤改良工事の施工不良等の問題に関する有識者委員会 中間報告書」を受けて、各地方整備局ごとに有識者委員会を設置し、確実な修補工法について検討することになった旨に言及。

□ 委員会規約を了承後、善委員を委員長に選任。

(1)福岡空港滑走路地盤改良工事の施工不良について

○改良体の形状は、注入された薬液の性質によって球状になっていない可能性がある。

(2)修補工法検討の視点について

○先行改良体が存在するので、修補時に薬液がどう入り込むか、試験施工で確認する必要がある。

○試験施工の内容は、修補工事の施工管理方法を念頭に検討する必要がある。

(3)現状把握のための現地調査(ボーリング)について

○薬液注入量の相異により、地盤特性にどのような違いが出ているかを把握することが重要である。注入率に応じて適切なサンプル数が得られるように実施する必要がある。

(4)今後のスケジュール

○委員からの意見は特になし

以上